

## 武蔵野市立保健センターにおける新感染症対策について

# 新型コロナウイルス感染症により必要性が明らかとなった主な役割・機能 ▶ 重点整備事項

	主な役割・機能	課題
1	「ワクチン接種を想定した臨時接種会場、接種資器材・ワクチン保管室、執務室等の諸室」機能	保健センターだけではワクチン接種事業を実施することはできず、 <u>市役所の会議室を長期間に渡り暫定利用し対応せざるを得ない</u>
2	「感染症に関する情報の集約・発信を行う拠点」機能	ワクチン接種事業以外にも、 <u>事務スペース等が不足しており、適切に調整・連携等が図れるスペースを確保する必要あり</u>
3	「PCR検査等の医療検査体制の調整・整備」機能	
4	「武蔵野市の各師会、医療機関等との連携」機能	



重点整備事項 [計画(素案)から]	
ワクチン接種事業を想定した施設環境の整備	
新施設には、 <u>新型コロナウイルスが発生した場合におけるワクチン臨時接種会場の設置を想定したスペースを確保する</u> 。また、ワクチン接種事業に必要な資器材保管室やワクチン保管設備、執務室、予診票等の資料保管スペースなどを想定した施設環境を整備する	
新たな感染症や災害に迅速かつ円滑に対応できる諸室転用機能の新設	
新型コロナウイルスが発生した場合や震災時にはワクチン接種以外にも様々な用途のスペースが必要となるため、平常時に会議室やオープンスペース等で使用しているスペースを緊急時には最優先でワクチン接種や各種感染症対策及び防災対策に転用できる仕組みを事前に確立する	

5	「各医療機関等を支援するための感染症対策衛生用品(マスク・防護衣等)の備蓄」機能	感染症対策衛生備蓄品を格納する倉庫が不足しており、 <u>遠距離の倉庫(約100㎡程度)に暫定的に格納している</u>
---	--	---



感染症対策衛生用品等の備蓄機能の拡充	
新型コロナウイルス対応を踏まえ拡充した感染症対策衛生備蓄品や東日本大震災等の教訓を踏まえ整理した災害時医療資器材等を格納する倉庫を拡充する	

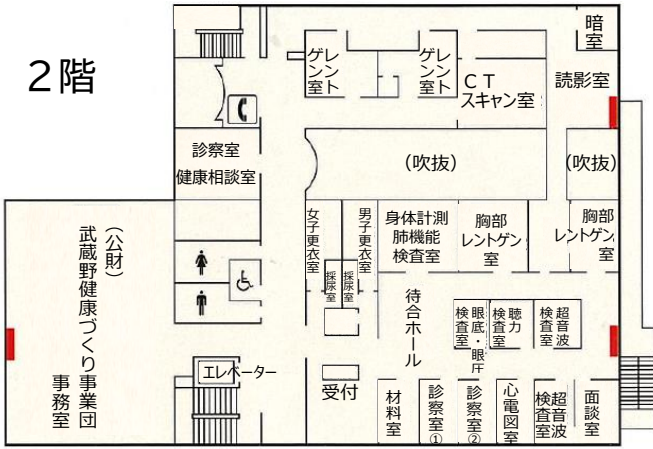
6	「感染防止対策を徹底した安心安全に受診できる各種健(検)診体制」機能	密を避けるためにコロナ禍以前より多くのスペースを複数階にて確保して健(検)診を実施しており、 <u>センター内での移動が複雑かつ多くなっており、受診者側・主催者側に負担が大きい状況である</u>
---	------------------------------------	---



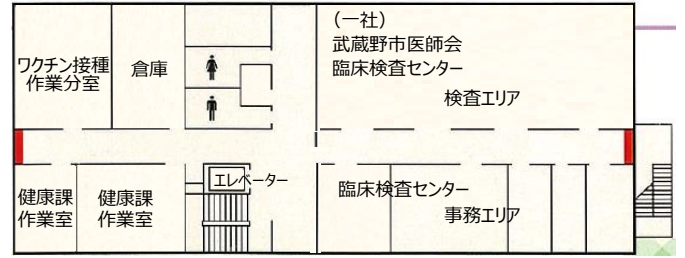
円滑に移動でき、感染対策を徹底した健(検)診環境の整備	
同一フロア内で「乳幼児健診」が実施できる体制とし、円滑に移動できることで受診者側・主催者側に負担が少なく、分かりやすい健診環境を構築する。待合室や健診室等で密にならないスペースを確保し、かつ回遊性のある極力一方通行な流れで健診が行える動線を構築する。「老成人の健(検)診」を実施する武蔵野健康づくり事業団の健(検)診環境についても同様に改善を図る	

# 【参考資料】保健センター現況図

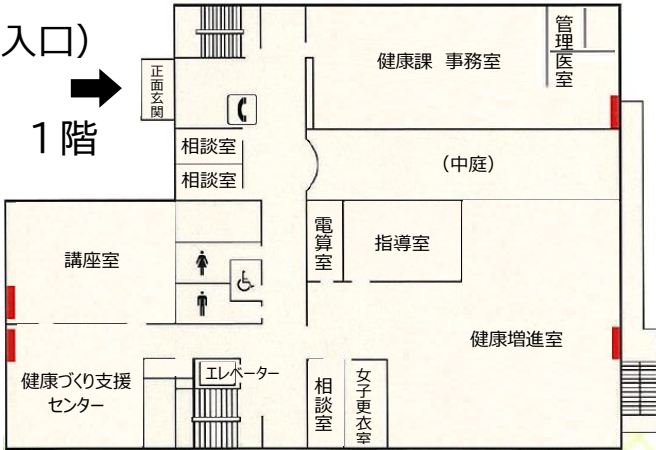
2階



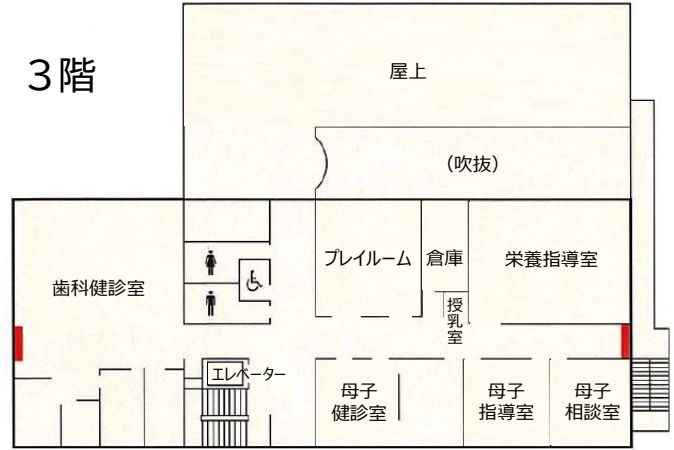
4階



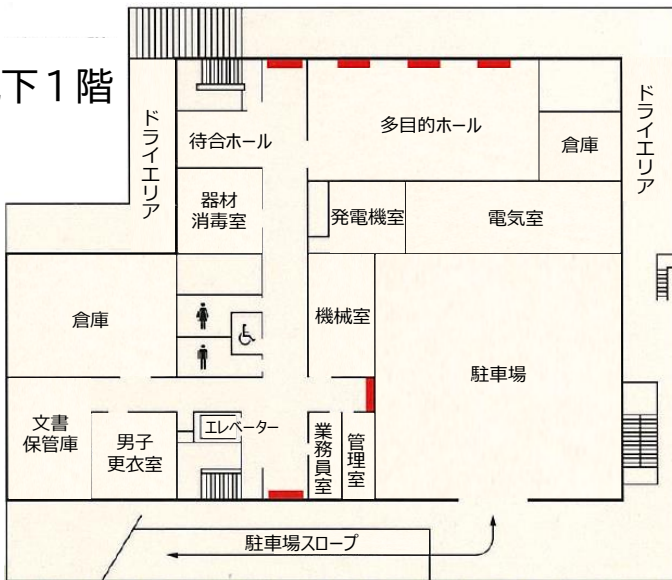
(入口)  
1階



3階



地下1階



【令和2年】健康課における新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

対象期間：令和2年1月～12月

(※) 実施時期 ア：令和2年1月～4月6日（緊急事態宣言前）イ：4月7日～5月25日（緊急事態宣言期間中）ウ：5月26日～12月31日（緊急事態宣言解除後）

	対応の名称	対応の内容（概要）	実施日/実施期間等 （令和2年）	実施時期※			実績 （令和2年12月31日時点）	課題等
				ア	イ	ウ		
【対策本部、全体的事項】	武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議開催	市医師会、武蔵野赤十字病院等の医師などで構成する専門家会議（委員5名）を設置し、会議を開催。	3月6日要綱施行 3月9日開催	■			会議は情報共有、意見交換を行い、専門家の意見を参考としながら、各関係機関との連携・協力・情報共有を密にしながら市の対策方針を決定していく。	委員構成が医療現場の第一人者であるため、会議の開催が頻繁にはできない。
	PCR外来検討プロジェクトチーム設置	武蔵野市PCR検査センター設置に向け、庁内プロジェクトチームを設置（副市長、健康課部課長、健康課担当職員）。	4月22日		■		4月22日から随時開催 武蔵野市PCR検査センターの設置に向けた実施体制をはじめ、実施スキーム、実施期間、実施場所、経費等を検討し、関係医療機関との調整を経て、センター設置に向けた準備を行った。	まだPCR検査ができる医療機関が少なく、国や都からの情報提供も十分ではない中、PCR検査センターの設置に向けた検討を行った。
	武蔵野市PCR検査センター開設	感染拡大リスクに備え、唾液による検体採取やウォークスルー方式などによるPCR検査体制を整備。 ・実施日：3日（原則、月、水、木）／週 ・実施時間：13:00～15:00 ・最大検査件数：15件／日（最大）	5月21日～			■ ■	検査実施件数（※12月28日現在） ・365件 ・陽性26件(7.1%)	各クリニックにてPCR検査を開始したため、10月以降検査数が減少傾向である。
	コロナ対策やPCR検査関係における窓口・電話・調査対応	国や都からのQ&Aをもとに問い合わせに関する案内ガイダンスを実施。	1月下旬～	■ ■ ■			2月～4月が問い合わせ件数が多かった。年末年始のPCR検査実施状況など合わせなど多数の電話対応あり。 市長への手紙（要望書含む）124件、ホームページからの問い合わせ、内外部からの調査・問い合わせ対応52件	窓口・電話対応に関しては随時、全庁的に情報共有を行う必要がある。 また、市長への手紙、ホームページからの問い合わせ、内外部からの調査・問い合わせなどに関してもある程度の分担が必要であった。
【情報発信等】	市公式ホームページに「新型コロナウイルスに関連した肺炎について」を掲載	対策本部設置前に速やかに周知・注意喚起を行った。	1月27日～ ※随時更新	■ ■ ■			—	—
	PCR検査実施可能な市内医療機関の情報を市公式ホームページに掲載	武蔵野市医師会で公表しているPCR検査可能な市内の医療機関について、市ホームページにリンクを貼り掲載した。	8月27日～			■	—	—
	「感染予防啓発ポスター（カラー版）」の印刷・配布、データの市公式ホームページ公表	周知・啓発を実施。	ポスター2月5日 ホームページ2月12日	■			<市関係施設等にて周知> ・ポスター2,000部 ・チラシ4,000部	情報が随時更新（連絡先など）されるため、紙媒体による周知は戦略が必要。

【令和2年】健康課における新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

対象期間：令和2年1月～12月

(※) 実施時期 ア：令和2年1月～4月6日(緊急事態宣言前) イ：4月7日～5月25日(緊急事態宣言期間中) ウ：5月26日～12月31日(緊急事態宣言解除後)

	対応の名称	対応の内容(概要)	実施日/実施期間等 (令和2年)	実施時期※			実績 (令和2年12月31日時点)	課題等
				ア	イ	ウ		
【市民生活支援】	子ども・子育て応援券の拡充 都の補助事業に市が上乗せをした形で、子ども・子育て応援券を3万円に拡充	既存制度の1万円分の子ども・子育て応援券に加え、4/28～5/12までに出産した産婦と5/13以降にゆりかごむさしの面接を行った妊婦に対し、妊産婦の感染防止のために必要な衛生資材の購入や、健診時等のタクシー移動で利用できる「子ども・子育て応援券」を2万円分を追加配布。(1万円は都補助。1万円は市独自上乗せ補助)	5月21日～令和3年3月31日 (5/13より面接開始)			■	①アンケート回答者に対して郵送 714件 ②面接来所時に手渡し 610件	令和2年度限りで終了す事業のため、令和3年度以降にゆりかごむさしの面接を行った方からの問い合わせが予想される。(追加分をもらえないことについて)
	若年層健康診査の受診期間延長	4、5月の受診期間だったものを7月末まで延長、12月から3月末まで追加で実施。	6月～7月、12月～3月			■	延長分 申込数632人、受診者数431人 追加実施分 申込数215人 受診者数61件 (R3/2/26現在)	令和2年度、受診期間を延ばす対応をしたため、令和3年度も対応が必要となる。
	高齢者インフルエンザ予防接種の全額公費負担	新型コロナウイルス感染症との同時流行に配慮して、東京都の補助金により全額公費負担(例年は2,500円の自己負担)	令和2年10月1日から令和3年1月31日			■	令和2年度実績：約23,000人(集計中)	—
	高齢者肺炎球菌の接種期間の延長	令和元年度の対象者の接種期間を令和2年3月31日までから一年間延長して令和3年3月31日までとした	令和2年6月26日から令和3年3月31日			■	令和元年度対象者数：3,560人	—
	子どもの予防接種期間の延長	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年3月19日以降、やむを得ず対象期間内に接種できなかった方は令和3年3月31日まで接種期間の延長可とした	令和2年6月26日から令和3年3月31日			■	令和2年度実績：37件	—
【医療機関支援】	医師会、医療機関にマスク・防護服等の配布、貸与	全国的なマスク等の不足が生じたため、市で備蓄していたマスク等を配布、貸与した。	2月28日～4月9日			■	医師会マスク約20,000枚(2月28日等)、吉祥寺南病院マスク2,000枚(3月6日)、森本病院マスク2,000枚(3月9日)、陽和会病院マスク5,000枚(3月18日)、武蔵野赤十字病院防護服800着・医療用手袋1,000双(4月9日)	—
	市内各クリニックにおけるPCR検査実施及び施設整備補助	8月下旬より、市内の各クリニック(武蔵野市医師会加盟)でPCR検査を随時実施。 検査実施施設には施設整備補助金として公表施設に@300,000、非公表施設に@100,000を支出	8月下旬			■	医師会と協議を重ねて、各クリニックでPCR検査ができるよう調整を行った。年末年始においても複数のクリニックにてPCR検査を実施。 実施医療施設(※12月28日現在) 52施設(公表25施設、非公表27施設)	感染拡大に伴い、臨機応変な検査体制が必要となる。
	感染症指定及び救急医療機関支援補助	感染症患者の受け入れを行う感染症指定病院や市民のPCR検査等を行う救急病院へ補助金を支出	10月28日			■	武蔵野赤十字病院 90,000千円、陽和会病院 30,000千円、吉祥寺南病院30,000千円、森本病院 20,000千円	—

【令和2年】健康課における新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

対象期間：令和2年1月～12月

(※) 実施時期 ア：令和2年1月～4月6日(緊急事態宣言前) イ：4月7日～5月25日(緊急事態宣言期間中) ウ：5月26日～12月31日(緊急事態宣言解除後)

	対応の名称	対応の内容(概要)	実施日/実施期間等 (令和2年)	実施時期※			実績 (令和2年12月31日時点)	課題等
				ア	イ	ウ		
【イベント、会議等の中止・延期・方法の変更】	食育ホームページ「食を育む。むさしの」を開設	食育フェスタ等食に関するイベント中止の代替として、食育情報発信のための特設ホームページ「食を育む。むさしの」を開設。	12月15日～			■	学校給食動画16本掲載、市内生産者21人と直売所の紹介、友好都市9都市の食の紹介等	—
	離乳食動画配信	離乳食教室が中止になった代替として、教室の内容を動画にして配信。	6月24日～			■	離乳食動画6本、歯みがき動画2本	—
	このとり学級等動画配信、このとり学級オンラインクラスの開始	令和2年2月から中止していたこのとり学級の内容を「ゆりかごむさしの赤ちゃんの動画」として武蔵野市助産師会の協力のもと作成。妊婦とご家族に出産後のイメージ作りや育児の参考としていただくためにホームページに掲載。 このとり学級(平日クラス)をオンラインクラスとして開始	動画6月3日～ オンラインクラス8月31日～			■ ■	・赤ちゃんのお世話動画9本 ・オンラインクラス月1回 平均参加人数10名	オンラインでの講座を実施するために、通信機器の整備等が必要。 (外局のため、iPadの借用の不便さ、zoomのホストとなるためのライセンス端末が限られているなど。)
	ゆりかごむさしのフェスティバルを中止	保健センターを会場に実施する予定だったイベントを中止。	6月28日中止			■	—	—
	母子保健事業の延期(一部中止)	(中止期間) ①3～4か月児健診(4月) ②1歳6か月児健診、3歳児健診(3/17～6/16) ③母親・両親学級、育児学級等(2/28～7月中旬：順次再開)	2月28日～7月中旬まで	■ ■ ■			①3～4か月児健診については、個別医療機関での実施に変更して再開(令和2年度中)	—
	むさしの食育フェスタを中止		11月21日中止			■	—	—
	胃がんエックス線検診(胃がんエックス線・肺がんセット検診含む)の中止	武蔵野健康づくり事業団で実施予定だったがん検診を中止	4月8日、10日 5月8日、11日、13日、15日、16日中止			■	定員120名分、申込者54名をキャンセル	—
	胃がん内視鏡検診の実施開始日を延期	6月1日開始予定を6月15日開始に延期	6月15日開始に延期			■	申込者：721名 受診者：352名(R3.2/.26現在)	感染症対策により、医療機関の受入体制が変化し、予約できない方もいた。
	子宮がん検診の実施開始日を延期	5月1日開始予定を6月1日開始に延期	6月1日開始に延期			■	受診者：6,936名(前年比90.0%)	—
	大腸がん検診の実施予定日を変更	令和3年1月に実施予定だった日程を令和2年11月に変更	11月に変更			■	受診者：613名(前年比146.7%)	市報の勧奨効果が大きかったと思われる。
骨粗しょう症予防教室の中止・日程追加	①4月実施予定だった日程を中止。 ②8月に日程追加。例年実施していた健康教室は中止して検診のみ実施、健康教室の代替として参加者にリーフレットを配付。	①4月24日、27日中止 ②8月24日、26日の日程追加			■ ■	①申込者44名をキャンセル ②参加者250名 R2参加者数計512名(前年比157.1%)	検診のみの実施となり、参加者が増加した。参加者への健康教育、要精検者への講義指導ができていないため、終息後の実施をどうするかが課題	
母子健康手帳郵送受付による特別対応の実施	緊急事態宣言期間中に母子健康手帳交付希望者には郵送で受付を行い対応を行う。	4月7日～緊急事態宣言解除まで			■	47件	—	
特定、後期健康診査一斉送付前発行	誕生月ごとに分けて送付していた受診票を希望者に対し早期発送を行った。	6月1日～30日			■	約1,600件	—	

【令和2年】健康課における新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

対象期間：令和2年1月～12月

(※) 実施時期 ア：令和2年1月～4月6日（緊急事態宣言前）イ：4月7日～5月25日（緊急事態宣言期間中）ウ：5月26日～12月31日（緊急事態宣言解除後）

	対応の名称	対応の内容（概要）	実施日/実施期間等 （令和2年）	実施時期※			実績 （令和2年12月31日時点）	課題等
				ア	イ	ウ		
【感染拡大防止対策】	妊婦へのマスク配布（市独自・国配布）	①厚生労働省による妊婦用マスク配布の一時中断を受け、出産予定のかたの感染不安を軽減するため、市独自でマスクを郵送。 ・4月出産予定の妊婦へ郵送配布（4/30） ・5月以降出産予定の妊婦へ郵送配布（5/20） ②厚生労働省による妊婦用マスクを窓口及び郵送配布	①4月30日 5月20日（5月以降出産予定の方） ②6月～10月		■		①4月配布 83名（紙マスク3枚、ポリウレタンマスク1枚）、5月配布 684名（ポリウレタンマスク2枚） ②6月～10月 布マスク2枚/月（窓口及び郵送配布）	—
	3～4か月児健康診査の個別（医療機関委託）実施	4月から保健センターにて行う集団健診を延期していたが、5月から個別健診として市内小児科医院において暫定的に実施。（令和3年3月まで）	5月8日～令和3年3月31日		■	■	約1,250件	・個別健診への変更に伴う委託料増加。 ・集団健診の再開時には三密を防ぐための健診回数の増や呼出し人数を調整。
	胃がんエックス線肺がんセット検診の受診勧奨通知の送付停止	例月申込開始に合わせて勧奨通知を送付していたものを停止	7月実施分以降停止		■	■	予定送付数：約10,000件	がん検診受診率が低下する（R2：645名前年比84.1%）

	対応の名称	対応の内容（概要）	実施日/実施期間等 （令和3年）	実績 （令和3年12月31日時点）	課題等
【対策本部、全体的事項】	健康福祉部政策研究・新型コロナウイルス感染症対策本部合同研修会の実施	感染症リスクマネジメントと今後の課題について学ぶため、感染症指定医療機関である武蔵野赤十字病院院長を講師として招き、対策本部員・関係職員等を対象とした合同研修会を開催。	1月5日	128人参加	—
	武蔵野市PCR検査センター開設	感染拡大リスクに備え、唾液による検体採取やドライブスルー方式等によるPCR検査体制を整備。 ・実施日：3日（原則、月、水、木）／週 ・実施時間：13時～15時 ・最大検査件数：15件／日（最大）	令和2年から継続（令和2年5月21日～令和3年2月28日）	（令和3年1月1日～2月28日） 検査件数：5件 陽性者数：0名	—
	コロナ対策やPCR検査関係における窓口・電話・調査対応	各種問い合わせに関する案内ガイダンスを実施。	令和2年から継続	感染者数に連動して8月、9月が問い合わせ件数が多かった。ワクチン接種やPCR検査など多数の電話対応あり。 市長への手紙（要望書含む）314件、ホームページからの問い合わせ対応291件	窓口・電話対応に関しては随時、全庁的に情報共有を行う必要がある。
	新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の開催	市立学校の2学期開始に当たっての教育活動等の対応を主な議題として、（1）教育活動の留意事項、（2）宿泊行事の実施、（3）部活動の実施、（4）学校施設開放、（5）2学期の開始時期について、意見と助言を求めた。	8月23日	それぞれの項目に対する実施可否・時期、留意点に関する各委員からの意見や助言を参考にしながら、今後の教育活動等に関する方針を決定していくことが確認された。	—
	医師会長と連名で武蔵野赤十字病院に、重症者用病床、中等症者用病床の増床及び抗体カクテル療法病床の設置に関する要望書提出	市と武蔵野市医師会が、急拡大する自宅療養者支援を地域医療介護連携により拡充する取り組みを始めることで合意し、地域医療連携を強化する観点から武蔵野赤十字病院に対し、医師会長と連名で武蔵野赤十字病院に、重症者用病床、中等症者用病床の増床及び抗体カクテル療法病床の設置に関する要望書を提出した。	8月27日	—	—
【情報発信等】	PCR検査実施可能な市内医療機関の情報を市公式ホームページ・市報に掲載	武蔵野市医師会で公表しているPCR検査可能な市内の医療機関について、市公式ホームページ・市報で周知を図る。	令和2年から継続	—	—
【市民生活支援】	若年層健康診査の受診期間延長	令和2年度は、4・5月の受診期間だったものを7月末まで延長、12月から3月末まで追加で実施。令和3年度は、年度当初より、4月から2月までを受診期間とした。	令和2年から継続	受診者数： 4月1日～12月31日 262件	—



	対応の名称	対応の内容（概要）	実施日/実施期間等 （令和3年）	実績 （令和3年12月31日時点）	課題等
【医療機関支援・連携】	自宅療養者の医療支援体制の整備	医師会の各医療機関へパルスオキシメーターの配備や、酸素濃縮器の整備（リース方式）に係る経費補助等を行い、PCR検査等を実施した市内医療機関が自宅療養者の病状等に応じてパルスオキシメーターを貸与、健康観察、電話・オンライン・訪問等による診療、酸素濃縮器の貸与等を行う医療支援体制を整備した。	8月 パルスオキシメーター配備 9月 酸素濃縮器経費補助開始	パルスオキシメーター配備 200個 酸素濃縮器貸与 4件	—
	市内各医療機関におけるPCR検査実施及び施設整備補助	8月下旬より、市内の各医療機関（武蔵野市医師会加盟）でPCR検査を随時実施。検査実施施設には施設整備補助金として公表施設に@300,000円、非公表施設に@100,000円を支出	令和2年から継続	PCR検査可能医療機関（市内）：61施設（R3.12.31時点） 検査件数：13,857件 陽性者数：1,830件	—
	医師会、医療機関等へのマスク・防護服等衛生用品の配布・貸与	全国的にマスク等の不足が生じたため、令和2年に市から医師会・医療機関等に市で備蓄していたマスク等の衛生用品を配布・貸与したが、今後の感染症に備えて補充備蓄を行った。また、感染が引き続き流行しており、各医療機関と薬局を支援するため必要なマスク等の衛生用品を配布し、自宅療養者の訪問診療に必要な衛生用品についても追加で配布を行った。	2月～3月 補充備蓄 8月～9月 配布	2月～3月 ・不織布マスク:500,000枚 ・N95マスク:50,000枚 ・手指消毒剤（1ℓ） 5,000本 ・ニトリル手袋:50,000双 ・感染防護衣:5,000セット  8月～9月 ・不織布マスク:116,500枚 ・N95マスク:4,000枚 ・手指消毒剤（500ml） 3,660本 ・ニトリル手袋:100,000双 ・感染防護衣:200セット ・フェイスシールド 3,300枚	急激な感染流行前に状況を見極め必要な衛生用品等を購入する必要がある。
【高齢者・障害者支援及び関連施設】	高齢者インフルエンザ予防接種の全額公費負担	新型コロナウイルス感染症との同時流行に配慮して、東京都の補助金により全額公費負担（例年は2,500円の自己負担）	令和2年から継続 （令和2年10月1日から。令和3年1月31日で終了）	令和2年度実績：21,866件	—
	高齢者肺炎球菌の接種期間の延長	令和元年度の対象者を令和3年3月31日まで接種期間の延長可としたが、さらに一年間延長し、令和4年3月31日まで延長可とした。（令和2年度の対象者も令和4年3月31日まで延長可とした。）	令和2年から継続	延長での接種者数： 令和3年1月～12月 713件	—

	対応の名称	対応の内容（概要）	実施日/実施期間等 （令和3年）	実績 （令和3年12月31日時点）	課題等
【子ども・子育て支援及び関連施設】	子ども・子育て応援券の拡充 都の補助事業に市が上乗せをした形で、子ども・子育て応援券を3万円に拡充	既存制度の1万円分の子ども・子育て応援券に加え、令和2年4月28日～5月12日までに出産した産婦と5月13日以降にゆりかごむさしの面接を行った妊婦に対し、妊産婦の感染防止のために必要な衛生資材の購入や、健診時等のタクシー移動で使用できる「子ども・子育て応援券」を2万円分を追加配布。 （1万円は都補助。1万円は市独自上乗せ補助）※令和3年3月31日で終了	令和2年から継続（令和3年3月31日で終了）	令和2年度（令和2年4月から令和3年3月）実績 追加分10,000円×3,630セット 配付	—
	子どもの予防接種期間の延長	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年3月19日以降、やむを得ず対象期間内に接種できなかった方は令和3年3月31日まで接種期間の延長可としたが、さらに一年間延長し、令和4年3月31日まで延長可とした。	令和2年から継続	延長での接種者数： 令和3年1月～12月 297件	—
	3～4か月児健康診査の個別（医療機関委託）実施	令和2年4月から保健センターにて行う集団健診を延期していたが、5月から個別健診として市内小児科医院において暫定的に実施。（令和3年3月まで）	令和2年から継続（令和3年3月31日で終了）	令和2年度（令和2年4月から令和3年3月）実績：1,060件	—
【イベント、会議等の中止・延期・方法の変更】	食育ホームページ「食を育む。むさしの」を開設	食に関するイベント中止の代替として、食育情報発信のための特設ホームページ「食を育む。むさしの」を開設。	令和2年から継続	—	—
	第1回「むさしの食育フェスタ」オンライン実施	年度当初、11月20日に来所型で実施予定であったが、オンライン方式により実施した。	12月15日～令和4年1月31日	動画10本、クイズ、直売所マップ	—
	離乳食動画配信	離乳食教室が中止になった代替として、教室の内容を動画にして配信。	令和2年から継続	離乳食動画6本、歯みがき動画2本	—
	こうのとりの学級等動画配信、動画視聴	令和2年2月から中止していたこのとりの学級の内容を「ゆりかごむさしの赤ちゃんのお世話動画」として武蔵野市助産師会の協力のもと作成。妊婦とご家族に出産後のイメージ作りや育児の参考としていただくためにホームページに掲載。 令和3年度は、このとりの学級（平日クラス）の内容を土曜日クラス申込者に対して動画視聴にて実施。	令和2年から継続	令和2年度 ・動画配信（赤ちゃんのお世話動画9本）  令和3年度 ・動画配信（赤ちゃんのお世話動画9本、事前視聴動画7本）	—
	このとりの学級オンラインクラスの開始	このとりの学級（平日クラス）をオンラインクラスとして開始。	令和2年から継続（令和3年3月31日で終了）	・オンラインクラス月1本	—
子育て・ゆりかごむさしのフェスティバルのオンライン開催	10月を「子ども・子育て応援月間」とし、子ども子育て支援課所管の「第20回子育てフェスティバル」と健康課所管の「第3回ゆりかごむさしのフェスティバル」を一体的に、特設のホームページを開設して、原則オンラインで開催した。動画は、市関係課、市内の保育施設や子育て支援施設など34団体で組織する実行委員会が、企画、出演、撮影、編集までを手がけた。	10月1日～31日 （特設サイトは令和4年3月末までアーカイブ配信）	ページビューの総数 4,788 動画の総再生回数 1,427 （10月31日時点）	—	

	対応の名称	対応の内容（概要）	実施日/実施期間等 （令和3年）	実績 （令和3年12月31日時点）	課題等
【感染拡大防止対策】	東京都モニタリング検査（PCR検査）への協力	東京都が実施するモニタリング検査（PCR検査）事業に市として協力をを行い、武蔵野市商店会連合会会員及びその従業員のうち希望する方を対象として、各商店会長を通じて検査への協力を依頼した。	6月14日～6月18日 8月30日～9月12日	—	—
【ワクチン接種推進】	武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部会議 部会の開催	新型コロナワクチン接種に係る検討を進めるため、武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部の下に部会を設置し、協議を実施。	第1回1月14日 第2回3月14日	—	—
	武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部の設置	新型コロナワクチンの住民接種の円滑な実施を推進するため、市長を本部長とする「武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部」を設置し、接種実施に係る協議を実施。	1月7日以降	武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部会議第1回～37回を開催（合計37回）。	—
	武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画の策定	新型コロナワクチンの安全かつ確実な1・2回目接種の実施に向けて、市の基本的な考え方や接種のスケジュール、接種体制などについての計画を策定。	第1版策定：3月8日	策定以降6回改訂	—
	1・2回目接種用の接種券の発送	①75歳以上の市民（高齢者施設入居者を除く）に発送 ②65～74歳の市民に発送 ③40～64歳の市民に発送 ④12～39歳の市民に発送	①4月23日 ②6月1日 ③6月24日 ④6月28日	①約17,000人 ②約15,500人 ③約53,500人 ④約47,500人	・最新の適切な内容の案内や医療機関一覧等を同封すること。 ・同封物に記載する情報が直前まで固まらず、業者に封緘を委託することができなかったため、職員動員や学生アルバイトでの作業となったが、その負担が大きかったこと。 ・大量の封筒を扱うための作業場所を確保すること。
	新型コロナワクチン接種に関する情報発信	下記の媒体で、新型コロナワクチンの接種に関する情報発信を実施。 ①市報 ②季刊むさしの ③市ホームページ新型コロナウイルスワクチントップページ ④Facebook・LINEの市公式アカウント ⑤Twitterの新型コロナワクチン接種担当公式アカウント ⑥TikTokの新型コロナワクチン接種担当公式アカウント（試行実施） ⑦YouTube武蔵野市動画チャンネル	①4月15日以降、毎月2回 ②夏・秋・冬号 ③2月19日開設 ④4月以降随時 ⑤9月1日開設 ⑥10月1日開設 ⑦4月以降随時	—	・国の方針変更に対応し、分かりやすく市民に伝えること。 ・日々、国からの情報が更新されるため、市報等、紙の広報媒体ではリアルタイムの情報を提供できないこと。

対応の名称	対応の内容（概要）	実施日/実施期間等 (令和3年)	実績 (令和3年12月31日時点)	課題等
接種の予約受付体制の構築	①武蔵野市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンターの開設 ②インターネット予約システムの活用 ③市職員を動員し、庁舎内に臨時コールセンターを開設 ④市職員を動員し、庁舎内に予約サポートセンターを開設	①3月1日 ②6月15日（新システム導入） ③5月19日、6月15日 ④6月2日	—	①コールセンターが混雑し、一時繋がりにくくなったこと。 ②サーバーダウンを防ぐため、アクセス制限を実施したことにより、サイトへ繋がりにくい事象が一時発生したこと。
1・2回目接種の実施	希望者に対して、集団接種会場（延べ8か所）と市内の一部医療機関（延べ80か所以上）で、1・2回目接種を実施。 <b>【集団接種会場】</b> 総合体育館、吉祥寺南町コミセン、市民会館、市民文化会館、吉祥寺駅北口駅前広場特設会場、保健センター、むさしのエコreゾート、市役所 <b>【使用ワクチン】</b> ファイザー、モデルナ、アストラゼネカ	集団接種：5月13日～11月21日 個別接種：5月26日～	1回目市民接種者数：116,153人 1回目市民接種率：86.2% 2回目市民接種者数：115,643人 2回目市民接種率：85.8% ※令和4年1月4日時点	—
自衛隊東京大規模接種接種センターでの接種を希望する方の接種券に関する対応	①自衛隊東京大規模接種センターの予約が5月17日から開始されることを受け、同センターでの接種を希望する65～74歳の市民の申請を受け付け、保健センター窓口および郵送で接種券を交付 ②上記センターの予約対象が、接種券を持つ18歳以上の方に拡大されたことを受け、大規模接種会場での接種を希望する18歳以上の市民の申請を受け、接種券を交付	①5月16日～27日 ①6月17日、18日	①交付人数：745名 ②交付人数：1,162名	—
高齢者施設での接種	市内高齢者入所施設にて入所者及び従事者の接種を実施。	5月6日～9月	1・2回目接種の合計回数：5,232回（30施設）	—
夜間接種の実施	接種規模を拡大するため、「武蔵野総合体育館」で土曜日に午後8時30分まで夜間接種を実施。	6月19日、26日、7月10日、17日	—	6月下旬頃から、国からのワクチン供給量が激減したため、夜間接種の継続が難しくなったこと。
高齢者への予約支援	市内在宅介護・地域包括支援センターに対し、架電・訪問による接種支援業務を依頼。	6月22日、7月6日、26日	支援件数：2,218件	—
障害者へのワクチン接種	①障害者地域生活支援ステーション（わくらす武蔵野）にて接種を実施 ②集団接種会場でのワクチン接種に困難が予想される重度知的障害者（障害者通所サービス事業所利用者）を対象に、保健センターで接種を実施	①6月23日～7月30日 ②7月3日～8月7日（毎週土曜日）	①接種人数：利用者36名、職員40名、関係者5名 計81名 ②接種人数：利用者363名、職員46名 計409名	—

対応の名称	対応の内容（概要）	実施日/実施期間等 （令和3年）	実績 （令和3年12月31日時点）	課題等
障害者通所サービス事業所従事者の優先接種	市内障害者通所サービス事業所従事者の優先接種を実施。	6月末～7月末	接種人数：約300名	周知方法、接種会場等の調整
新型コロナワクチン接種にかかる手話動画の作成	ワクチン接種にかかる情報について、聴覚障害者への案内を充実させるため、手話動画を作成し、市ホームページとYouTube武蔵野市動画チャンネルに掲載。	第1報：4月28日公開 第2報：6月17日公開 第3報：8月10日公開 第4報：10月21日公開	計4回	—
つながり・こころのつながり臨時号の発行	障害のある方への広報誌「つながり・こころのつながり」（通常、「つながり」は年3回、「こころのつながり」は年1回発行）の臨時号を発行し、ワクチン接種にかかる情報の周知。	7月1日	—	—
ワクチンの適正な供給及び配分に関する要望書の提出	①行政改革担当大臣および厚生労働大臣に対して、新型コロナウイルスワクチンの適正な供給に関して、市長が武蔵野市医師会長と連名で要望書を提出 ②東京都知事に対して、新型コロナウイルスワクチンの適正な配分に関して、市長が武蔵野市医師会長と連名で要望書を提出	①7月9日 ②7月9日、8月11日	—	—
ワクチンの残余を活用した優先接種の実施	集団接種会場のキャンセル対応方針を定め、集団接種におけるワクチンの残余分を活用して接種を実施。 ※第3優先～第5優先に関しては、各所管を通じて希望者に接種希望場所と曜日を調査し、接種当日に余剰が発生した場合に、各会場より架電して接種を実施 [第1優先] 会場内で従事している医師、看護師、薬剤師 [第2優先] 会場運営従事者（市職員及び委託事業者のうち希望する方で、3週間後にも接種できる方） [第3優先] 障害児福祉サービスの従事者、市内認可保育園及び幼稚園の従事者、市立小学校の教職員、学童クラブ及びあそべえの従事者 [第4優先] 武蔵野市消防団員 [第5優先] 市内に住民登録があり、市民と直接関わる頻度の高い行政サービス従事者（レモンキャブやテンミリオンハウス従事者、民生児童委員等） [第6優先] 市商店会連合会会員店舗等の従事者及びその同居家族	5月以降	集団接種における当日キャンセルなどによるワクチンの廃棄をなくすことができた。 第1優先：11名 第2優先：119名 第3優先：138名 第4優先：6名 第5優先：107名 第6優先：47名	—
郵送申請の実施	65歳以上の未接種者かつ市集団接種未予約者を対象に、集団接種郵送申請書を送付し、希望者は概ね7月末までに割り当て実施。	6月21日	送付件数：約14,600名 申請：553名 割り当て：467名	—

対応の名称	対応の内容（概要）	実施日/実施期間等 （令和3年）	実績 （令和3年12月31日時点）	課題等
優先接種の実施	①集団接種において、基礎疾患のある方や妊娠中の方等を対象とした優先接種を実施 ②小学生・中学生・高校生について、夏季休業期間中に接種を受けられるよう、接種順位の繰り上げを実施 ③集団接種において、小学生・中学生・高校生・入学試験を控える受験生を対象とした優先接種の実施	①予約開始：7月21日、8月2日、8月30日（妊婦の方等のみ） ②予約開始：8月3日 ③予約開始：9月22日、10月1日	—	①基礎疾患のある方や妊娠中の方の優先枠に一般の方が予約してしまうことを予約システム上制御できなかったこと。
若年層の接種推進に向けた対応	①利便性の高い場所に「吉祥寺駅北口駅前広場特設会場」を設置し、平日は午後8時まで夜間接種を実施 ②TikTok公式アカウントにて、若者向けの動画を配信	①10月9日～11月21日 ②10月1日～	—	①建築基準法の関係で設置期間を3か月未満としなくてはいけなかったこと。また、台風時の対応のほか、電源の確保やトイレの設置が難しいこと等。
ワクチン接種証明書の発行	①他国への渡航予定、意向がある方を対象に、紙媒体の「新型コロナウイルス感染症 予防接種証明書」の申請受付を開始 ②海外渡航予定者に限らず、国内で利用予定の方も対象に、紙媒体の「新型コロナウイルス感染症 予防接種証明書」の申請受付を開始 ③国が運用を開始した「新型コロナワクチン接種証明書アプリ」での交付を開始	①7月26日 ②12月20日 ③12月20日	発行数 紙：1,782件 アプリ：4,775件	窓口の設置を前提としていなかったため、郵送申請による対応としたが、来庁申請を希望する市民が多かったこと。
アストラゼネカ社製ワクチンを使用した接種体制の構築	国からのファイザー社製ワクチンの供給量が激減したこと及びモデルナ社製ワクチンを使用した大規模接種の新規受付が停止していたことを受け、重症化リスクの高い40歳以上の方への接種をより推進するため、新たに承認されたアストラゼネカ社製ワクチンでの接種を実施。	1回目接種日：9月4日～19日 2回目接種日：10月2日～11月20日	—	国から配送されたワクチンの有効期限が配送日から約1か月と短期間だったこと及びアストラゼネカ社製ワクチンの接種を希望する方が少なかったことから、有効期限までにワクチンを使用することができなかったこと。
他自治体でファイザー社製ワクチンへの異物混入が確認されたことへの対応	他自治体で異物混入が確認されたファイザー社製ワクチンと同ロットのワクチンを使用していることを受け、安全性に関する情報収集・発信を実施。 ※9月17日にファイザー社より調査結果の発表があり、当該白い浮遊物は製品由来のものであり、安全性に問題ないことが報告された	9月15日	—	—

	対応の名称	対応の内容（概要）	実施日/実施期間等 （令和3年）	実績 （令和3年12月31日時点）	課題等
	モデルナ社製ワクチンを使用した集団接種会場の開設	「むさしのエコreゾート」にモデルナ社製ワクチンを使用した集団接種会場を開設。1階部分を新型コロナワクチン接種会場として使用し、2階アーカイブコーナーのみ開館。接種会場に施設情報・環境啓発情報の展示を行うなど、接種者に向けた情報発信も行った。	1回目接種日：9月22日～10日16日 2回目接種日：10月20日～11月13日	—	—
	モデルナ社製ワクチンの若年男性への接種についての国の見解を受けての対応	10月15日に国から、10代及び20代の男性（以下「若年男性」という。）については、新型コロナウイルスに感染した場合に合併して発症する心筋炎等の発生頻度よりは低いものの、ファイザー社製ワクチンに比べてモデルナ社製ワクチンの接種後に生じる心筋炎等の発生頻度が高いことから、十分な情報提供の上、ファイザー社製ワクチンの接種も選択することができるの見解が示されたことを受け、ファイザー社製ワクチンでの接種を希望する方に対応のとおり振替対応の周知を開始。 ・「むさしのエコreゾート」でモデルナ社製ワクチンを1回接種済みの若年男性に対して、2回目接種時にファイザー社製ワクチンの接種も選択できること等について、メールまたは郵送で周知 ・「むさしのエコreゾート」に2回目接種に来た若年男性に対しては、受付時にファイザー社製ワクチンの接種も選択できること等について周知	周知開始：10月19日	—	—
	外国籍市民への新型コロナウイルスワクチン接種についての支援	言葉の壁や予約の仕方が分からないことで接種に至らない外国籍市民が一定数存在することを踏まえて下記のとおり対応。 ①未接種の外国籍市民を対象に接種勧奨の手紙を発送 ②武蔵野国際交流協会（MIA）で予約の支援を実施 ③新型コロナワクチン関連情報をやさしい日本語に翻訳し市ホームページに掲載	①10月6日 ②随時 ③7月以降随時更新	①勧奨手紙発送数：992名 ②予約支援者数：22名	効果的な勧奨方法の検討が困難であったこと。
	3回目接種用の接種券の発送	①4月末までに2回目接種した市民に発送 ②5月末までに2回目接種した市民に発送 ③6月末までに2回目接種した市民に発送 ④7月末までに2回目接種した市民に発送	①11月19日 ②12月3日 ③12月16日 ④12月21日	①約1,200人 ②約2,300人 ③約16,000人 ④約26,000人	国の方針変更に対応し、適切な時期に、適切な内容の案内や医療機関一覧等を同封すること（最新の情報を同封できないこと）。